

主流メディアは人民の敵：数十年に及ぶフェイクの果てに滅亡する（後半）

CIA が報道の可否を決め、深層国家がフェイク物語をつくる

【訳者注】CIA と、いわゆる主流メディアのつながりについては、これまでも、このサイトで何度か取り上げたが、今回のこれによって、よりよくわかったように思えることがある。両者の関係は、私の解釈では、命令者と命令を受ける者の関係、つまり時には不服をもちながらも、権力者には従うという関係でなく、最初から一体感をもった対等者の関係である。したがって、CIA という「純粹悪」を、それと一体となったメディアは、悪として認識できないのではなかろうか？ つまり、CIA のつくる世界が、唯一正しい世界であり、自分も対等の立場で、そこに参入しているということである。それは彼らにとって誇りであるが、それが倒錯であると気づいたとき、ジャーナリストは去っていく。今、それがアメリカでは大量に起こっているらしい。当然の成り行きで、多分、わが国でもそれは起こっているだろう。この主流メディアの体質を、ここではこう説明している（p.4）——「主流メディアは、完全に希望のない大義（cause）を持つもので、改革するとか、健康を回復することのできないものである。」これはよくわかる説明ではないだろうか？

9・11：主流メディアによるすべての隠蔽の母

主流メディアは、2001年9月11日の、深層国家と、グラディオ作戦によって行われた、誰の目にも明らかな、内部犯行とニセ旗テロ攻撃を、調査することさえできなかった。あの制度的な怠慢と、第4権力（メディア）のショッキングな不正行為が、あまりにも深かったために、フェイクの「テロとの戦い」が、この古典的な「グラディオ作戦」の犯行者自身によって、詐欺的に宣言された。

<http://themillenniumreport.com/2018/07/the-gladio-code-has-been-broken-natos-terror-matrix-shattered/>

「**民衆の敵**」とはまさにこのことである。主流メディアの全体が、3千年紀におけるこの最大の犯罪隠ぺいに、本質的にかかわっている。参照：「**9・11 裁断：主流メディアは、米国史**

上最大の、隠ぺいの犯罪を行った」 <http://stateofthenation2012.com/?p=7293>

ジョン・F・ケネディ大統領の暗殺後だけでも、主流メディアが、アメリカで、喜んで参加し、隠ぺいした、ニセ旗攻撃の総数を考えてみるならば、企業メディアが人民の大敵であることは明らかである。モッキングバード・メディアが、JFK の——CIA による——公的処刑について何を報道しただろうか？ 報道したのは、馬鹿々々しい、CIA のねつ造した一匹オオカミ狙撃説で、それは無実のリー・ハーヴィー・オズワルドの単独犯行としては、物理的に不可能な話だった。 <http://stateofthenation2012.com/?p=2613>

「Lee Harvey Oswald が CIA にはめられた理由は、彼が彼らの暗殺陰謀に侵入し、ケネディ兄弟に直接仕えていたからである」

<http://stateofthenation2012.com/?p=87739>

2016 アメリカ大統領選挙

トランプの選挙が国民全体に明確に示したものは、主流メディアが、いかに信じられぬほどに、危険なものになったかということだった。誰も知らなかったことは、2016 年の選挙日前までのあらゆる物語が、ドナルド・トランプを選挙で敗退させる、明らかな目的に貫かれていたことだった。当時のデジタル記録から、今わかることは、企業メディアが、クリントン陣営、CIA、FBI、DOJ、英情報共同体、それにさまざまな、闘犬をもつ他の強力な組織と、直接、癒着していた沢山の例があることである。

この政治問題への侵略的な干渉に、全く前例がないわけではない。問題は、この複雑で絡み合った犯罪的な陰謀が、完全に開け広げになったことである。トランプが立候補を宣言した日以来、深層国家は、彼を潰すための恐ろしい手段を次々に繰り出し、主流メディアはその戦闘力の柱だった。参照：「**主流メディアは、露骨な選挙戦詐欺と選挙盗みの、犯罪的共犯者になってしまった**」 <http://stateofthenation2012.com/?p=46065>

トランプが、あの收拾のつかない選挙シーズン中に、達成できたことは、メディアがあまりにも言葉をごまかし、故意に曖昧で、ミスリードし、事実を曲げることを、暴露したことである。こういうことは、これまでに起ったことがなく、今後も起こらないだろう。それは、主流メディア全体が、人類歴史で最大の、ウソ製造工場として明らかになったからである。そしてこうしたウソの多くは、繰り返し、人類の大きな危機をもたらしている（例：ロシアゲイト）。

「ロシア憎悪：シオニスト-アングロ-アメリカンの、ロシア征服陰謀は、リアルタイムで明らかになっている」 <http://themillenniumreport.com/2018/07/russophobia-the-zio-anglo-american-conspiracy-to-conquer-russia-unravels-in-real-time/>

実際、モッキングバード・メディアほど、明らかにウソの非難と、露骨な戦争プロパガンダに基づいて、第3次大戦の熱い局面に突入しようと、熱くなっているものはない。これが、滑稽で愚かな「トランプ-ロシア癒着」物語の背後にある、中心的な意図である。深層国家は単に「陰の背府」の命令を実行しているにすぎず、CIAは、New World Order グローバリストのアジェンダの、実行部門と警察機関として働いている。この顕著な組織構造が明らかになれば、どうしてメディアが「**民衆の敵**」でないことがあろうか？

2018 中間選挙

この国家（と世界全体）が目撃しようとしていることは、やがて始まる中間選挙における深層国家の、生の権力と明らかな影響力である。（記者：これは昨年11月に終わっている。）ミューラーによる調査の背後にある、主たる目的は、怪しくても「トランプ反逆」の要素を、選挙民の心の中に生きたまま留めておくことである。これができるのは主流メディアのもつ力だけであり、彼らがトランペットを鳴らして、あらゆる機会に、ニセの非難や主張をするしかない。

深層国家は、トランプの国家主義的なアジェンダを挫き、彼を弾劾するためには、民主党が上院を取り戻し、下院で大きく勝たねばならないことを知っている。左翼は、ホワイトハウスから彼を追い出そうと、歴史上どんな大統領も受けたことのない起訴を考えている。もちろんメディアは、綿密に考案された人格暗殺キャンペーンにも、ソフト・クーデタの展開を助けるためにも、ヒット作品を次々と作ることが役目だった。深層国家は、トランプと選挙民との離反が、十分な程度になったとき、ホワイトハウスから追放すればよいことを知っている。

このグローバリストの実行計画に、完全な形のクーデタが含まれているかどうかはわからない。しかしジョージ・ソロス資金による「紫革命」は、それを示唆している。

<http://stateofthenation2012.com/?p=56307>

メディアの純粹悪化 (Ponerization)

この現在進行中の悲劇の結果、起こることは一つしかない——主流メディアは、その現在の

形では、即刻、閉鎖しなければならないということである。そしてそれは、全面的な市民戦争を煽り立てるのに利用される前に、早急に終わらせなければならない。参照：「**主流メディアは早急に閉鎖するか、占領されねばならない**」

<http://stateofthenation2012.com/?p=63285>

主流メディアは、完全に希望のない大義を持つもので、改革するとか、健康を回復することのできないものである。モッキングバード・メディアの主要な拠点は、中央情報局と同じやり方で、スタッフが配置される。それらは、非情なやり方で「**純粹悪化**」されている。これは、それぞれのメディア帝国トップの、サイコパスの高官が、同じような犯罪的に異常なソシオパスを採用し、末端レベルで彼らの汚い仕事をさせているのである。（確かに、どうしようもなく病的に異常なサイコパスだけが、世界戦争を始める明らかな意図をもつ論説を、日常的に書けるだろう。）

参照：2017/03/02「**純粹悪的“深層国家”は片が付けられるか？（前編）**」

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170307.pdf>

70 年間におよぶアメリカの諸機関の、非情な純粹悪化を考えれば、この国がこのような混乱に陥っているのは不思議ではない。アメリカがここに至るには長年月を要した。だから、このダメージを取り戻すには――それが可能として――ある程度の深刻な年月を要するかもしれない。現在の窮境は簡単な解決法をもたない。唯一の効果的な療法は、全体に浸透する地殻変動的な出来事の形を取るかもしれない。常にあこがれていた「ソドムとゴモラ」を諦めようとしないう者たち（訳者――あきらかに民主党を指す）は、無くならないかもしれない。<http://stateofthenation2012.com/?p=66949>

特別ノート：メディアが民衆の敵であるだけでなく、主流メディアは、その餌食を無能にするために、強力な「**大量だまし兵器**」を使っている。これらの大量だまし兵器は、世界中で戦争や紛争を始めるために、組織的に使われてきた。武器化された社会メディアによって、最大の主流メディア・ネットワークは、意のままに内乱や革命を、組織的に起こすことができる。グローバリスト戦争屋は、誰でもメディアを支配する者が、世界の国家共同体を支配することを知っている。したがって、人類の最も重要な課題は、**誰が本当に主流メディアを支配しているかを知ることである**。そのようにして初めて、彼らは、惑星的文明に対する、途方もない権力と悪意をもつ立場から、追い出されるだろう。

<http://cosmicconvergence.org/?p=2231>

<http://cosmicconvergence.org/?p=2422>



このアメリカ全土に及ぶ、100年間の文化マルクシズムの、冷酷な展開によって、アメリカ社会は、かつての栄光の、影にすぎないものになってしまった。あらゆる悪だくみをするメディアの墮落は、何が起きても驚かないほどの低いレベルに落ちてしまった。このスクリーンショットは、アメリカの最高の新聞といわれる、ニューヨーク・タイムズによって投稿された、恥ずべきビデオの一部である。これが、わが国の大手主流メディアの、墮落した、最近のありさまである。純粹悪化した出版業界は、新しい基準がますます悪質になるように、このようなものを許している。<http://stateofthenation2012.com/?p=102053>

結論

このような分析から一つの結論が導き出されるであろう：——CIAの主流メディアは不可避免的に没落する。これは想像することが難しいかもしれないが、どんなものでも、これほど墮落し、犯罪的なものは、その不法な、人倫に反した行為自体の重さによって、引きずり降ろされざるをえない。主流メディア、CIA、FBIといったものにとって、逃れえないものを逃れるすべはない。彼らのそれぞれは、天の神から、遅かれ早かれ、膨大な矯正の試練と、報復を与えられるであろう。共和国のために、それが少しでも早く起こることを、希望しようではないか。<http://stateofthenation2012.com/?p=4955>

——以上

訳者の推奨するユーチューブ：Q—Killing the Mockingbird
：Q—Dark to Light